

主に守られた日々（42年間の会社生活を振り返って）

アルジェリア、フランスでの体験（天然ガス回収プラント建設プロジェクト）1988-1990年

1. アルジェリアについて（1）

- アフリカ最大の国土を有す。80%はサハラ砂漠。人口はアトラス山脈の北側、地中海沿岸に集中。
- アトラス山脈を越えるとサハラ砂漠で天然ガス、石油の産出地。
- 公用語はアラビア語。ほとんどの国民は旧宗主国のフランス語を話す。
- 99%はイスラム教スンニ派のアラブ人国家。1990年代のイスラム原理主義政党の躍進でイスラム過激派によるテロで治安が悪化。



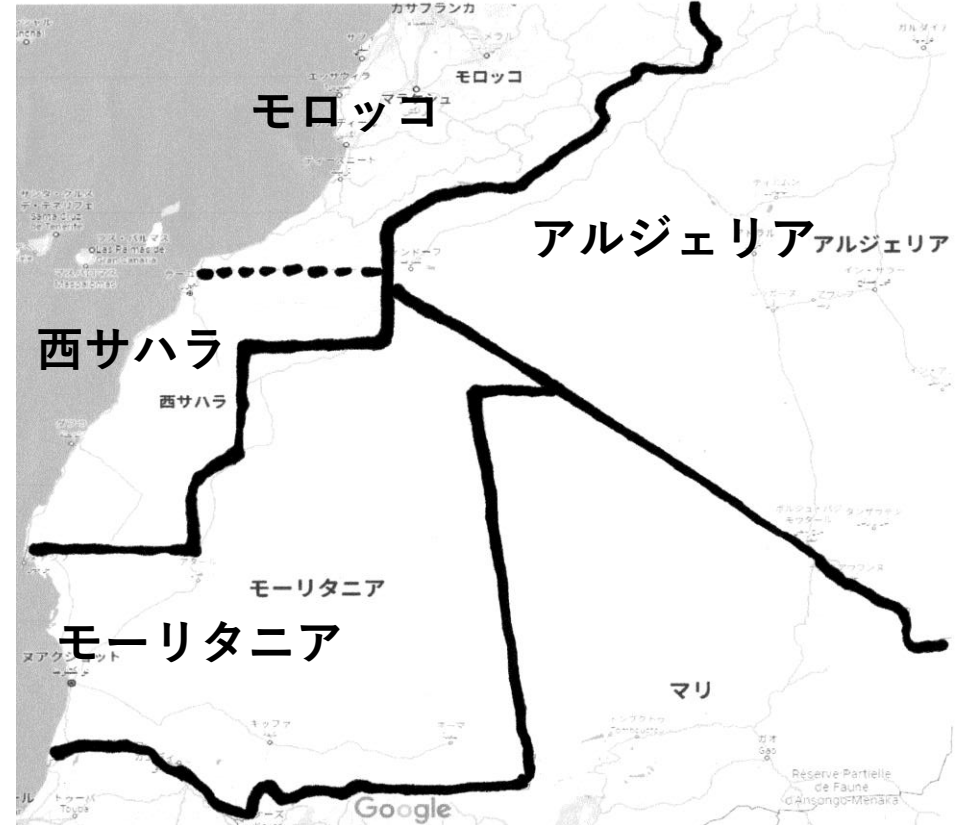
首都アルジェの緯度は東京とほぼ同じ

主に守られた日々（42年間の会社生活を振り返って）

アルジェリア、フランスでの体験（天然ガス回収プラント建設プロジェクト）1988-1990年

1. アルジェリアについて（2）

- ・ 2021年8月にモロッコと国交断絶。
 - ー西サハラの領有権問題：モロッコによる実効支配に反発
 - ーモロッコとイスラエルの国交正常化合意（アブラハム合意）に反発



西サハラはモロッコが実効支配

主に守られた日々（42年間の会社生活を振り返って）

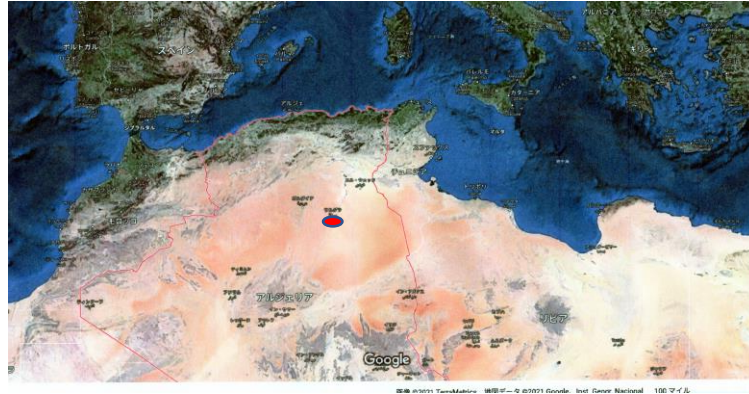
アルジェリア、フランスでの体験（天然ガス回収プラント建設プロジェクト）

2. アルジェリアでの業務

- ・アルジェリアの国営企業SONATRACH社から受注した天然ガス回収プラントの構造物設計と建設スーパーバイザーを担当

3. プラント建設場所

OURGLA（オアグラ）は、サハラ砂漠の小さなオアシスの町で天然ガスの産出地。



地図上の赤丸がオアグラ



オアグラのプラント建設現場

3-1. 現地フランス語通訳のラオス人スタッフの波乱万丈の人生で思ったこと

政治的に、経済的に揺れ動く世界の中で、堅固な岩イエス・キリストを心に据えることの必要性を教えられた。

（この世の望みの消えゆくときにも心は動かじ 御誓(みちか)い頼めば我が君イエスこそ 救いの岩なれ 救いの岩なれ）

讚美歌280番 3 節

主に守られた日々（42年間の会社生活を振り返って）

アルジェリア、フランスでの体験（天然ガス回収プラント建設プロジェクト）

4. アルジェリアの首都アルジェの街

- ・地中海沿岸の温暖な地中海性気候で四季があり、町並みは旧宗主国フランスのようでヨーロッパを彷彿させる。
- ・フランスの影響が強く、多くの国民はフランスにアコがれている。



地中海に面したアルジェの街



ホテルからは地中海を一望

5. イスラム原理主義の台頭による国の変化

- ・1990年イスラム原理主義の台頭で、世俗的な人とイスラム原理主義者の二極化が著しかった。



フランスのようなアルジェの街並み



坂の多い街並み

6. キリスト教

- ・イスラム教徒による迫害の中クリスチャンは増加しているが人口の1%

主に守られた日々（42年間の会社生活を振り返って）

アルジェリア、フランスでの体験（天然ガス回収プラント建設プロジェクト）

7. フランスのエンジニアリング会社との業務

- ・設計はフランスの基準、規格のため、フランスの設計会社（SOCETEC）をサブコンとして起用し、設計、資材調達はフランスで実施。
- ・SOCETEC（設計サブコン）はラ・ディファンスにある新凱旋門を建設。エトワール凱旋門とは一直線上にある。
- ・Strasbourgにある製作工場で立会検査を実施した時、検査に同行した関係者について面白いことに気付いた。客先（アルジェリア人）はセム系、サブコンのエンジニア（セネガル人）はハム系、製作工場の担当の女性（フランス人）はヤペテ系、私（日本人）はハムorセム?とノアの全子孫が一堂に揃った。
（神はノアと、彼といっしょにいる息子たちに告げて仰せられた。
「さあ、わたしはわたしの契約を立てよう。あなたがたと、そしてあなたがたの後の子孫と・・・わたしは雲の中に、わたしの虹を立てる。それはわたしと地との間の契約のしるしとなる。」）創世記9:8-13



建設中の新凱旋門



エトワール凱旋門



一堂に会したノアの子孫

主に守られた日々（42年間の会社生活を振り返って）

アルジェリア、フランスでの体験（天然ガス回収プラント建設プロジェクト）

8. パリ長期滞在中邦人教会に出席することができた

- ・現在は、パリ・プロテスタント日本語キリスト教会となっている。
- ・当時は、作田兄弟が世話役をされていて、パリで和食レストランを経営されている方、日本大使館に勤務されている方、留学中の方などパリ在住の邦人の方々が集われていた。邦人教会は、異邦の地にあるユダヤ人の会堂のようなものかと思った。
- ・邦人にとっては良い交わりと安らぎの得られるところで、特に海外赴任、長期出張のクリスチャンにとって異邦の地で礼拝と交わりが持てることは靈的にも強められ世俗的な誘惑から守られる特権であった。邦人教会の存在は信仰を持つ出張者にとって大きな恵み。
(見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんといいしあわせ、なんといい楽しさであろう。) 詩編133:1
(こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです。) エペソ2:19
- ・作田兄弟の一時帰国時、本邦で主にある懐かしい交わりの時を持つことができた。
- ・妻Kathyを日本から呼び寄せ、一緒に邦人教会で礼拝を持つことができたのも感謝であった。

主に守られた日々（42年間の会社生活を振り返って）

アルジェリア、フランスでの体験（天然ガス回収プラント建設プロジェクト）

9. アルジェからプラント建設サイトへの道

・一度フライトがSand Stormでキャンセルされ、アルジェからオアグラまで、車で行った。空調設備のない車で、アトラス山脈を越え、サハラ砂漠に入ると、初めは砂漠の絶景であったが、10分もしないうちに、温度が急上昇し、窓を開けると、今度は熱風が入ってきて、過酷な所にいることを肌で感じた。



地中海側の緑豊かなアトラス山脈



アトラス山脈越え



アトラス山脈を越えるとサハラ砂漠



イラクでも過酷な気候に遭遇したがサハラは更に過酷



客先のPM， EMと途中オアシスの町ガルダイアで休憩

主に守られた日々（42年間の会社生活を振り返って）

アルジェリア、フランスでの体験（天然ガス回収プラント建設プロジェクト）

10. オアグラの街



街に行くロバ車



ロバ車に乗る人



ロバに乗る人



砂の結晶（サハラのバラ）の土産店



土産に持ち帰ったサハラのバラ

主に守られた日々（42年間の会社生活を振り返って）

アルジェリア、フランスでの体験（天然ガス回収プラント建設プロジェクト）

11. アルジェリアのキリスト教会（迫害の中にあるクリスチャン）で学んだこと（1）

・キリスト教に対する規制強化、イスラム原理主義者による迫害にもかかわらず、クリスチャンの数が急速に成長している。福音的クリスチャンは2008年1万人であったが現在50万人—人口の1%

（そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。）

使徒2:46-47

・キリスト教に改宗する場合には、家族や近所の人々の迫害を受けるだけでなく、当局による逮捕者も増加している。

（そのとき、人々は、あなたがたを苦しいめに会わせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。） マタイ24:9

主に守られた日々（42年間の会社生活を振り返って）

アルジェリア、フランスでの体験（天然ガス回収プラント建設プロジェクト）

12. アルジェリアのキリスト教会（迫害の中にあるクリスチャン）で学んだこと（2）

・迫害の中にあるクリスチャンは力強い。（クリスチャンの確信）

確信1. 私の助けは主から来る

（私は山に向かって目を上げる。私の助けは、どこから来るのだろうか。私の助けは、天地を造られた主から来る。）詩編121:1-2

確信2. この希望は失望に終わらない

（そればかりではなく、患難さえも喜んでいきます。それは、患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。）ローマ5:3-5

確信3. 私が弱い時こそ私は強い

（しかし、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである。」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。ですから、私は、キリストのために、弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじています。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。）第二コリント12:9-10

確信4.

（私にとっては、生きることはキリスト、死ぬこともまた益です。）ピリピ1:21